

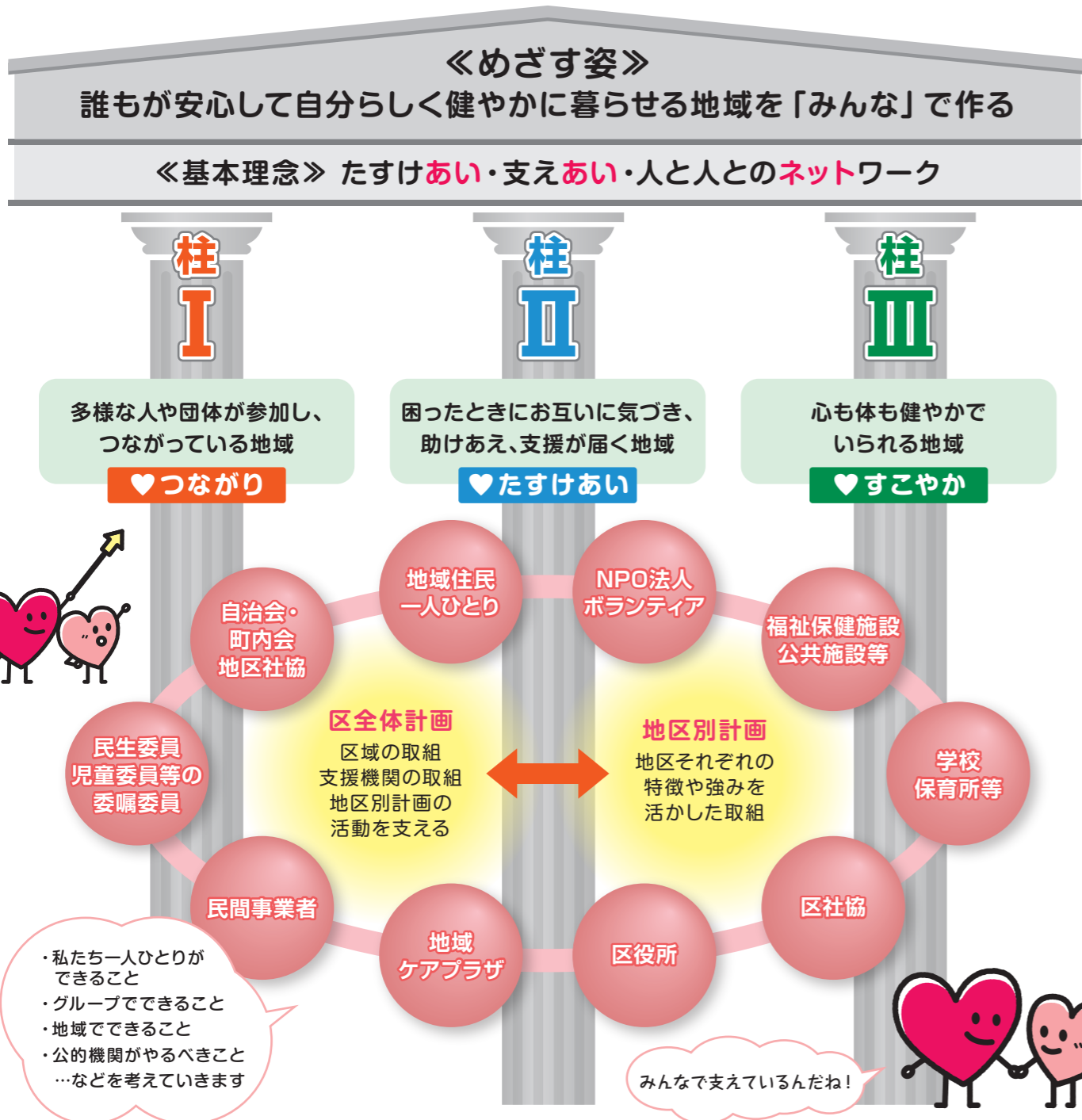
# 第5期鶴見・あいねっと (鶴見区地域福祉保健計画)の方向性

## 「鶴見・あいねっと」とは

誰もが安心して自分らしく健やかに暮らせる地域を目指して、住民一人ひとりや地域活動団体、事業者、公的機関などが、それぞれにできることを「みんな」で取り組むための計画です。

## 「鶴見・あいねっと」の構成

- ・区全域で取り組む「区全体計画」は、「めざす姿」に向かうための3つの「柱」を設定しています。
- ・地区で話し合って策定した18の「地区別計画」は、地域みんなの想いを共有するものになっています。



### 柱Ⅰ

## 多様な人や団体が参加し、つながっている地域

### ♡つながり

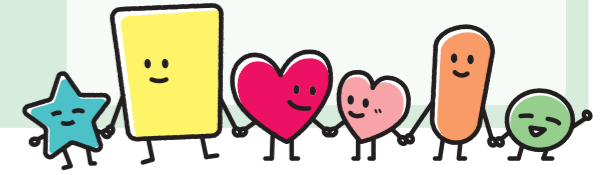
地域での暮らしは、様々なつながりで成り立っています。

鶴見区には自治会・町内会はもちろん、学校、企業、NPO法人などの多様な団体があります。

その潜在能力を最大限に発揮できるように、これまで以上に様々な分野がつながっている地域を目指します。

### 【めざす姿】

- 子どもや子育て世代など、あらゆる世代が地域とつながっている
- 福祉の分野を超え、多様な団体同士がそれぞれの強みを生かし協力している
- 地域を支える人材が生まれる土壌がある
- 「つなぎ役」「コーディネート力」がいる・ある
- 新しい交流の形や機会が増えている



### 柱Ⅱ

## 困ったときにお互いに気づき、助けあえ、支援が届く地域

### ♡たすけあい

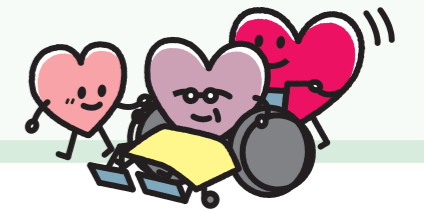
困りごとやその背景、必要とする支援は一人ひとり異なります。

相談先がわからない、困っていると言いづらい、そもそも自分が困っているのかわからないこともあります。

日ごろからの見守りと声かけを大切に、住民同士がお互いを理解し、困っているときに気づきあい、必要な支援につながる地域を目指します。

### 【めざす姿】

- 一人ひとりの多様な背景を相互に理解できる
- 日ごろの見守りから、困っている人に気づき、必要な情報を届けることができる
- 誰もが支える側、支えられる側になるような「お互いさま」の関係がある
- 支援機関や関係団体が連携できている



### 柱Ⅲ

## 心も体も健やかでいられる地域

### ♡すこやか

一生を通して自分らしくいきいきと暮らすためには、一人ひとりが若いころから自身の健康を守る意識を持ち、取り組むことが大切です。

また、人との交流、生きがいや役割が持てる場や機会があることは、心の健やかさにもつながります。

一人ひとりが自ら身体と心の健やかさを保つことができる地域を目指します。

### 【めざす姿】

- 年齢や障害などに関わらず、その人の状態に合わせて健康づくりの場に参加できる
- 若いころから健康づくりに関われる
- 年齢や障害等に関わらず、ボランティアや地域活動等に参加し、居場所や役割が持てる機会がある

